

2 安心して子どもを産み、育てるための体制の充実

(1) 子どもや母親の健康の確保と父親の育児参加の促進

48	ア 医療・保健の連携
周産期保健医療看護連絡会を初めとする医療機関との連絡会、合同研修会、事例検討会などを通じて、医療と保健が常に緊密な連携を図っていきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産を取り扱っている市内総合病院及び近隣総合病院、助産院、訪問指導員、関係職員による周産期保健看護連絡会を年1回開催している。 ・ 出産場所の確保を図るため、助産師復職支援事業を実施した。 21年度実績 3コース 研修参加者 延119人、人材登録者数94人 ・ 横須賀市医師会と連携し、こんにちは赤ちゃん訪問時に配布する子育て情報パンフレット「こんにちは赤ちゃん」3,500部を作成した。
今後の予定	引き続き、周産期保健看護連絡会、助産師復職支援事業を実施するとともに、周産期医療情報を提供していく。

49	イ 心のケア体制の充実
子育て中の保護者の心の安定を図るため、新生児訪問や乳児健診時にメンタルヘルスチェックを行い、必要があれば相談に応じます。また、メンタルヘルスチェック後のフォロー体制として乳児健診の中に心理相談を取り入れるようにしていきます。特に出産後1～3か月の間の母親の孤立感を少なくするための取組を検討していきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康福祉センターでメンタルヘルスチェックの後、心理相談員による親のメンタルヘルス相談を実施している。 21年度実績 延75人 ・ 継続して相談が必要な場合は、こども健康課での親子支援心理相談や精神科医によるメンタルヘルス相談、グループミーティング「ママの時間」につなげている。 21年度実績 延578人
今後の予定	今後も、保護者の心のケアを行い、親子支援心理相談を週3日から週5日に拡大する。

50	ウ かかりつけ医の確保
お誕生日前健診や2歳6か月児歯科健診、予防接種などを通じ、各家庭におけるかかりつけ医の確保に努めていきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課・こども健康課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 18年度から、医療機関の適切な受診に関する保護者の理解を深め、小児救急医療体制を保持することを目的として、救急医療講演会「上手な小児科のかかり方」を開催している。 21年度実績 4回 延48人 ・ 21年度には救急医療講演会の内容を保育関係者やより多くの保護者へ周知するため、DVDを作成した。 ・ こんにちは赤ちゃん訪問やお誕生日前健診、予防接種、子育てガイドなどを通して、かかりつけ医の確保について啓発を行っている。
今後の予定	引き続き、こんにちは赤ちゃん訪問やお誕生日前健診、予防接種、子育てガイドなどを通して、かかりつけ医の確保について啓発を行う。また小児救急医療体制保持のため、講演会の開催、DVDの貸し出しを行う。

51	エ 乳幼児健診の質の向上と未受診者の状況把握
<p>病気・発達状況の早期把握、的確な指導など乳幼児健診の質の向上を目指します。また、健診未受診者の状況を把握し、子どもの健全育成に欠かせない重要な保健・福祉情報の提供を行っていきます。</p>	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診の未受診者の保護者へ受診勧奨を行っている。受診しない場合は担当保健師が家庭訪問を行うなど状況把握を行っている。共働きの家庭も受診しやすいよう13年度から土曜健診を開始した。 ・保健師のスキルアップを目指し、研修会を実施している。 <p>21年度受診率ー乳児健診 97.5% 1歳6か月児健診96.9% 3歳児健診 95.2%</p>
今後の予定	引き続き、乳幼児健診を実施し、乳幼児一人ひとりに合った支援につなげていく。

52	オ 予防接種の推進
<p>感染症の集団発生を防ぐために、予防接種率の向上を目指し、未接種者への啓発と協力要請を行っていきます。</p>	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課
実績	<p>定期予防接種の対象者全員に個別に通知し、接種を促している（日本脳炎を除く）。近年、流行が問題となった麻しん（はしか）対策のため、18年度から年長児を対象にMR2期予防接種を開始、また、21年度から暫定5年間、中1及び高3を対象にMR3・4期予防接種を行っている。あわせて、20年12月から小学3・4年生を対象に臨時MR予防接種を実施している。</p> <p>21年度接種率 三種混合 97.5% MR1期 91.0% MR2期 88.0% MR3期 73.4% MR4期 53.4% ジフテリア2期 67.9%</p> <p>臨時MR接種者数 6,276人</p>
今後の予定	引き続き、対象者全員へ個別通知を行うとともに、健康診査時や広報紙等を通じて接種勧奨を重ね、接種率向上を目指す。22年度も臨時MR予防接種を行い、暫定5年間の麻しん対策の取り組み期間中、麻しん抗体保有者の早期増加を図る。

53	カ むし歯予防の推進
<p>幼児健診における歯科指導とあわせ、1歳児・2歳児を対象としたむし歯予防教室を開催していきます。</p>	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課 生涯学習部 学校保健課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉センターで3歳児も含めたむし歯予防教室を開催している。 21年度実績 1歳児 917人 2歳児 321人 3歳児 208人 ・保育園や幼稚園で歯科巡回指導を実施している。 21年度実績 保育園 1,165人（1歳児～5歳児） 幼稚園 2,108人（4歳児・5歳児）
今後の予定	引き続き、年齢ごとに必要な指導を実施し、むし歯予防を推進していく。

54	キ 子どもの生活リズムの改善
乳幼児健診や育児教室を通じて子どもにとっての運動や休養の必要性を啓発するとともに、「大人の生活時間に子どもを引き込んでいないか」、「子どもの生活リズムを大切にしたい家庭生活となっているか」など、生活リズムの改善を進めていきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課
実績	乳幼児健診や各種教室で、生活リズムの必要性について啓発を行うとともに、母子健康手帳交付時に、生活リズムに関する保護者の意識啓発のための情報を提供している。
今後の予定	引き続き、乳幼児健診や各種教室での啓発活動、情報提供を実施する。

55	ク 妊婦の喫煙及び受動喫煙の予防
妊婦の喫煙や受動喫煙は、早産・低体重児出生の要因となることから妊娠を期に妊婦本人やその家族、周囲の禁煙行動を呼びかけていきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課
実績	母子健康手帳交付時の面接において、禁煙行動の必要性について説明している。プレママ・プレパパ教室や子育てガイド等で、禁煙に関する保護者の意識啓発のための情報を提供している。21年度から母子健康手帳交付時に母子保健テキスト「HAGUKUMI BOOK」を配布し、妊婦の喫煙や受動喫煙の影響について情報提供を行う。
今後の予定	引き続き、母子健康手帳交付時の面接や各種教室などで啓発活動を行う。

56	ケ 母乳育児の推進
母子の愛着形成の促進、免疫力の確保を目的に、母乳育児を推進していきます。そのために、母乳相談日を設けるなど母乳に関する相談をしやすい体制を整備していきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課
実績	横須賀市助産師会の協力により、各健康福祉センターで母乳相談を実施している。 21年度実績 34回 82人 21年度から母子健康手帳交付時に「HAGUKUMI BOOK」を配布し、母乳育児について情報提供を行う。
今後の予定	引き続き、母乳相談などを行う。

57	コ 妊娠・出産に関する学習機会の提供
<p>妊婦を対象とした「こうのとりの教室」と土曜日に開催する「両親教室」を拡充し、健やかな妊娠と出産に関する学習を行う機会としていきます。</p>	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平日だけでなく、土日・夜間にもプレママ・プレパパ教室(1日こうのとりの教室)、プレママ・プレパパのための歯科栄養教室、料理教室を実施した。 21年度実績 57回 1,190人 (うち、土日・夜間 18回 595人) ・出産後の親のサポートのため、祖父母を対象とした「グランマ・グランパ教室」を実施した。 21年度実績 4回 31人
今後の予定	引き続き、「プレママ・プレパパ教室」、「グランマ・グランパ教室」等の各種教室を実施する。

58	サ 親子の愛着形成の促進
<p>子育て教室や乳幼児健診などにおいて、親子の愛着形成の重要性について意識啓発を図っていきます。特に父親の子育てにおける役割などについて考える機会・情報を提供し、父親の育児参加のあり方等を市民とともに考えていきます。</p>	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課・こども青少年支援課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・プレママ・プレパパ教室、プレママ・プレパパのための歯科栄養教室、料理教室を妊婦とその配偶者を対象に開催している。 プレママ・プレパパ教室への配偶者の参加 21年度実績 433人 ・「お父さんのための子育てガイド」を作成、母子健康手帳交付時に配布している。 21年度実績 3,500部作成
今後の予定	引き続き、プレママ・プレパパ教室を開催するとともに、「お父さんのための子育てガイド」改訂版を配布する。

59	シ 乳児事故予防教室の実施
<p>子どもの不慮の事故を予防するため、消防局との連携のもと事故予防教室を実施するなど啓発に努めていきます。</p>	
施策推進部課	消防局 消防・救急課 こども育成部 こども健康課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉センターで、乳幼児救急救命講習を実施している。 21年度実績 29回 277名受講 ・プレママ・プレパパ教室やこんにちは赤ちゃん訪問、乳児健診時に事故予防の啓発リーフレットを配布している。
今後の予定	引き続き、乳幼児救急救命講習を実施するとともに、啓発リーフレットを配布する。

60	ス 特定不妊治療費助成事業等の推進
子どもが欲しいと望んでいるにもかかわらず、子どもに恵まれず、不妊治療を受ける夫婦に対し、「特定不妊治療費助成事業」を推進するとともに、不妊相談事業等に取り組んでいきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・16年10月から特定不妊治療費助成事業を開始、19年度から1回10万円、21年度から1回15万円を限度に1年度2回まで、通算5年間、助成を行っている。 21年度実績 215件 ・17年7月から不妊相談（産婦人科医による相談）を開始、隔月に1回実施している。 21年度実績 4人
今後の予定	引き続き、内容を検証しながら事業を実施するとともに、市民への周知を行う。

(2) 食育の推進

61	ア 食生活の充実
子どもの欠食や栄養の片寄りが問題となっていることから、健診や各種教室を通じて献立や一口メモを配布し、「生活習慣病予防は離乳食から」をスローガンに「食育」に取り組んでいきます。	
施策推進部課	健康福祉部 保健所健康づくり課 こども育成部 こども健康課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・19年4月に策定の横須賀市食育推進計画に基づき、年2回の庁内ワーキングを行い、市全体の食育の取り組みを推進している。 ・プレママ・プレパパのための歯科・栄養教室等各種教室を開催し食育を推進している。 21年度実績 プレママ・プレパパのための歯科・栄養教室 157人 プレママ・プレパパのための料理教室 70人 離乳食教室（3～4か月児を対象） 1,308人 モグモグ教室（7か月児を対象） 459人
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、横須賀市食育推進計画に基づき、市全体の食育の取り組みを推進していく。 ・プレママ・プレパパのための歯科・栄養教室等各種教室を継続して実施する。

62 イ 食が育てる心の育成									
<p>食事を栄養の補給ということだけでなく、家族のふれあいや食べることを楽しむといった視点、また、食の安全性を考えたり、食材をつくる人、調理をする人などへの感謝の気持ちを育むなど、食が育てる心を重視し、個食・孤食・拒食・過食といった問題の発生の予防に取り組んでいきます。</p>									
事業推進部課	健康福祉部 保健所健康づくり課 こども育成部 こども健康課 生涯学習部 学校保健課								
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・19年4月に策定の横須賀市食育推進計画に基づき、年2回の庁内ワーキングを行い、市全体の食育の取り組みを推進している。 ・プレママ・プレパパのための歯科・栄養教室等各種教室を開催し食育を推進している。 <p>21年度実績</p> <table border="0"> <tr> <td>プレママ・プレパパのための歯科・栄養教室</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>プレママ・プレパパのための料理教室</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>離乳食教室（3～4か月児を対象）</td> <td>1,308人</td> </tr> <tr> <td>モグモグ教室（7か月児を対象）</td> <td>459人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診の中で食に関する指導を実施している。 <p>(小学校における取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食に関する指導の推進に学校教育全体で取り組むため、全小学校で全体計画を作成した。給食の時間を通し、望ましい食習慣の形成等のための指導を行った。 ・家庭科において「生活を見直そう」「朝食を作ろう」などの題材で、子どもたち自身の生活の振り返りや保護者参加型の授業等を行った。 ・保護者に対して、「保健だより」「給食だより」「学級通信」などを通じ、よりよい生活習慣や朝食・食の重要性を呼びかけている。 ・給食の統一献立において、地場産(市内産)野菜等のとり入れを推進し、作付けから収穫までの様子が児童に伝わるよう全学校に情報提供した。また、この取り組みを全家庭に伝えた。 	プレママ・プレパパのための歯科・栄養教室	157人	プレママ・プレパパのための料理教室	70人	離乳食教室（3～4か月児を対象）	1,308人	モグモグ教室（7か月児を対象）	459人
プレママ・プレパパのための歯科・栄養教室	157人								
プレママ・プレパパのための料理教室	70人								
離乳食教室（3～4か月児を対象）	1,308人								
モグモグ教室（7か月児を対象）	459人								
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、横須賀市食育推進計画に基づき、市全体の食育の取り組みを推進する。 ・歯科・栄養教室等各種教室、乳幼児健診での食育を継続して実施する。 ・中学校を含めた全ての学校で、食育に関する年間指導計画を作成することを目標に取り組む。 								

(3) 子ども・家族の大切さについての理解

63 ア 乳幼児とふれあう機会の提供	
<p>保育園や各種教室などの場を活用して出産前の両親を対象に乳幼児とふれあう機会を提供し、母性・父性の育成を図っていきます。また、親子サロンでの児童の交流、妊婦と産婦・乳児の交流を進めていきます。さらに、中学校、高等学校の教科や特別活動、総合的な学習の時間等の場面をとらえ、保育園、幼稚園等の場を活用した乳幼児とのふれあいをとおして、子どもを産み育てることの意義や子どもと家庭の大切さなどを理解する活動を推進していきます。</p>	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課・保育課 生涯学習部 学校教育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉センターで、妊産婦おしゃべりサロン、出張型おしゃべりサロンを実施している。 <p>21年度実績 83回 1,722人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレママ・プレパパ教室において、妊婦とその配偶者が出産直後の乳児や産婦と交流し、母性・父性の育成を図っている。 ・中学校や高等学校の家庭科の授業において、幼児とふれあったり、職場体験として幼稚園・保育園での保育体験を行っている。また、総合的な学習の時間において、命の大切さについての理解をねらいとして乳幼児とのふれあい体験を実践している例もある。
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、妊産婦おしゃべりサロン、出張型おしゃべりサロン、プレママ・プレパパ教室等を実施するとともに、保育園での中高生の職場体験の受け入れを行っていく。 ・学校においても、引き続き、各校の工夫のもと乳幼児とふれあう機会を計画的に設けていく。

64	イ 思春期からの子育て意識の啓発		
関係機関が連携して子どもを産み育てる責任、親や家庭の役割等子育てに関する意識の啓発を行うとともに、子どもにとって安心できる家庭のあり方について学習する機会を提供していきます。また、思春期の子どもを持つ親を対象とした「こころの健康づくり教室」を実施していきます。			
施策推進部課	こども育成部 こども健康課	生涯学習部	学校教育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・横須賀市助産師会の「いのちの授業」等の実施を支援している。 ・学校では、道徳や特別活動、総合的な学習の時間、家庭科などの学習において地域の機関（人）と連携し、子育てについて考えたり、家庭の役割についての意識を高めたりする機会を設けている。 		
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、横須賀市助産師会の活動を支援する。 ・学校においても、引き続き、関係機関との連携を図り、子育てに関する意識の啓発や家庭のあり方について学習する機会を設けていく。 		

65	ウ 思春期の子ども達が自分の体・命を大切にするための取組		
望んだ時に子どもを妊娠、出産できるように、また、望まない妊娠を防止するための啓発活動を行っていきます。さらに、子育て支援教室等へのボランティア参加などを通じ、子どもは保護される存在であること、自分も多くの人々に見守られ、育ってきた存在であることを実感し、体験できる機会を増やしていきます。			
施策推進部課	こども育成部 こども健康課	生涯学習部	学校教育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ツイنز全体会において、中学生・高校生のボランティア参加を受入れ、体験の場を提供している。 21年度実績 2回開催 37人参加 ・学校において、道徳や特別活動、総合的な学習の時間、保健体育などの学習を通して自分の体や命を大切にする授業を行っている。 		
今後の予定	引き続き、ツイنز全体会等への中学生・高校生のボランティア参加を促すとともに、学校において、子ども自身が自らの体や命を大切にするための授業等を実施する。		

66	エ 思春期の子ども達の健康づくり		
学校保健や思春期の問題に対応する機関との連絡会を開催することにより、食習慣、喫煙・飲酒・薬物の乱用防止などについて連携を図りながら思春期の子ども達の健康づくりを進めていきます。			
施策推進部課	こども育成部 こども健康課・こども青少年支援課	健康福祉部 保健所健康づくり課	生涯学習部 学校教育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・思春期における様々な不安や悩みを抱える青少年とその保護者に対し、専門職（臨床心理士、精神科医師、電話相談員等）による相談を行っている。 ・未成年の喫煙・飲酒防止、薬物乱用防止のため、関係機関、関係団体との連携を図りながら、パトロールや街頭指導、青少年健全育成協力店事業を実施している。 ・高校1年生を対象に「たばこと健康」をテーマとして保健所による健康教育を1回実施した。 ・中学校において、保健体育の時間を中心に、思春期の問題の対応や健康づくりを進めている。 		
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、思春期の子ども達の健康づくりのため、専門職による相談、助言、支援を行う。 ・未成年の喫煙・飲酒防止、薬物乱用防止のため、関係機関、関係団体との連携し、パトロール等の事業を実施する。 ・依頼に応じて保健所による健康教育を行う。 ・学校においても、思春期の問題の対応や健康づくりを継続して進める。 		

67	オ 学校と連携した性感染症の講習及び検査機会の確保	
<p>小学校高学年・中学校・高校の児童・生徒・保護者を対象に、学校と連携しながら、性感染症、エイズを中心に、講習会を実施していきます。また、HIV抗体検査と併せて、性感染症検査（クラミジア、梅毒）の機会を確保し、同時にカウンセリングを行っていきます。</p>		
施策推進部課	健康福祉部 保健所健康づくり課	生涯学習部 学校教育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・エイズや性感染症に関する教室を中学校、高校、PTA等を対象に実施した。21年度実績 16回開催 3,755人受講 ・中学校の保健体育の時間を中心に、性感染症等への理解を深めている。 	
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校からの依頼に応じ、教室を実施していく。また、年度当初に各学校に教室の案内を送付する。 ・学校においても、引き続き、性感染症等への理解を深める授業等を実施する。 ・学校現場での理解をより深めるため、教員に対しても研修を実施する。 	

(4) 小児医療の充実

ア 保健・医療・福祉のネットワークづくり（再掲）

68	イ 緊急医療の確保	
<p>夜間・休日における小児科当番医等の情報提供など、緊急医療の確保に向けて取り組んでいきます。</p>		
施策推進部課	健康福祉部 健康福祉総務課	こども育成部 こども健康課
実績	<p>夜間・休日における小児科救急医療体制を確保し、広報紙などにより情報提供を実施している。こんにちは赤ちゃん訪問時に、救急医療についての情報提供を行うとともに、不要な受診を防ぐための啓発活動を行っている。</p>	
今後の予定	<p>引き続き、緊急医療の確保に向けた取り組みを実施する。</p>	

3 子どもが心身ともに健やかに成長するための教育環境の整備

(1) 次代の親の育成

ア 乳幼児とふれあう機会の提供（再掲）

69	イ 男女平等と子育てに関する学習機会の提供		
男女平等と子育てに関する学習機会を提供するため、若年層世代を含めた男女共同参画市民サポーターによるグループワーキング及び出前講座を実施していきます。また、性別による分け隔てのない学校教育、保育の推進を図るとともに、性に関する講座、講演会を開催していきます。			
施策推進部課	市民部 人権・男女共同参画課	生涯学習部 学校教育課	こども育成部 保育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画の推進を図るため、市民の目線で市の男女共同参画施策に対する意見交換をする場として、市民サポーター会議を開催した。21年度は、男女共同参画推進拠点施設「デュオよこすか」の充実について議論した。 21年度実績 3回開催 保育園、幼稚園、学校において、男女混合名簿の採用など、性別による分け隔てのない学校教育、保育を行っている。また、学校生活の中で、人権感覚を育てる指導を行っている。 		
今後の予定	男女共同参画市民サポーター会議を今後も定期的で開催するとともに、性別による分け隔てのない学校教育、保育を引き続き推進する。		

70	ウ 男女が協力して家庭を築くこと及び子どもを産み育てることの意義に関する教育の検討		
次代を担う男女が互いに協力して家庭を築くことや子どもを産み育てることの意義について、理解を深められるような施策について関係機関と連携して検討を進めていきます。			
施策推進部課	生涯学習部 学校教育課	市民部 人権・男女共同参画課	
実績	<ul style="list-style-type: none"> 小学校・中学校・高等学校の家庭科において、家庭の役割や大切さ、男女の協力等についての学習を行っている。 広報紙「ニューウエーブ」で、男女共同参画についての意識の啓発を行っている。また、連合町内会へ、男女共同参画社会づくりに関する出前トークを実施した。 21年度実績 3団体 		
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、学校において家庭の役割や大切さ、男女の協力等についての学習を実践していく。 市民向けの男女共同参画に関する講演会や地域（町内会・自治会）への男女共同参画の推進に向けての出前トークなどを順次開催していく中で、性別による固定的役割分担意識の改善など啓発を図る。 		

(2) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

71	ア 地域資源や外部人材等を活用したきめ細かな指導の推進
<p>変化の激しい社会において、主体的に生き抜いていく力をはぐくむため、地域の資源を生かした活動を行ったり、外部人材等を活用するなど指導体制を工夫したりしながら、一人一人へのきめ細かな指導を推進していきます。</p>	
施策推進部課	生涯学習部 学校教育課
実績	<p>学校は、地域の特色を活かしたゲストティーチャーや安全管理、施設整備等多岐にわたる学習サポーターとして外部人材を活用して、教育効果を高めている。また、学校教育課作成の「人材バンク」を各校に配布したり、活用のために予算化を図ったりして推進している。</p>
今後の予定	引き続き、学校の特色ある取り組みを支援し、推進していく。

72	イ 高校生及び大学生への情報技術を習得する機会の提供
<p>高校、大学等在学中に情報技術（コンピュータ・プログラミング）を学習することがない生徒・学生に対して、情報技術を習得する機会を提供するとともに職業意識の高揚を図っていきます。</p>	
施策推進部課	経済部 商工振興課 生涯学習部 教育研究所
実績	<p>17年度 就労支援講座プログラミング科（高校生・大学生対象）実施</p> <p>学校教育においては、16年度までに市立小中学校のパソコン教室にパソコン40台を整備、市立総合高校では開校時にパソコンを操作しながら学習する教室8室のほか校内LAN環境を整備し生徒が1人1台パソコンを所有、20年度には37の小中学校にLANと各普通教室に1台のパソコンを整備するなど、情報活用能力の育成に努めてきた。</p>
今後の予定	<p>職業意識の高揚に向けた情報技術の講座等は、就職支援セミナー等に含めて検討する。</p> <p>学校教育においては、22年度中にすべての小中学校、特別支援学校2校へのLANと普通教室1台のパソコン整備を完了。整備した環境を有効に活用するため、教員向けの研修の充実に取り組み、学習指導要領に示された児童生徒の情報活用能力の育成やよりわかりやすい指導を通じた学力の向上につなげていく。</p>

73	ウ 不安定就労若年者（フリーター）等への情報技術を習得する機会の提供
<p>アルバイトやパートタイム労働に従事する不安定就労若年者（フリーター）や「無業」の若年者に常用雇用の就職に必要な情報技術などを習得する機会（パソコン各種講座・簿記講座）を提供していきます。</p>	
施策推進部課	経済部 商工振興課
実績	<p>若者（30歳代）の求職者に対する就職支援セミナーを県と共催で実施した。</p> <p>21年度実績 6回 53人参加</p> <p>ホームページやチラシにより「就職に役立つ情報」を提供している。</p>
今後の予定	引き続き、県と共催して、若者（30歳代）の求職者に対して、就職支援セミナーを実施する。職業技術校就学者に対して、入校時と修了時に奨励金を交付する。

エ 相談機関のネットワークづくり（再掲）

74 オ 体験学習・交流活動の機会の充実

学校や公民館、青少年の家（みんなの家）などにおいて、自然や動植物とふれあう機会の充実を図っていきます。また、昔の遊びなどを親子で体験したり、地域の高齢者と交流しながら学ぶ体験活動等を通して道徳教育や生き方の指導を推進していきます。また、子ども同士の交流事業として、他都市の子どもとの交流やふれあいキャンプ事業なども引き続き行っていきます。さらに、ファミリー・サポート・センターは他の家族や世代、子どもとふれあう貴重な機会であり、自分の家以外の家庭でのルールや作法などを知る場としての展開について検討していきます。

<p>施策推進部課</p>	<p>健康福祉部 長寿社会課</p>	<p>こども育成部 こども青少年企画課・こども青少年支援課 こども健康課</p>	<p>生涯学習部 学校教育課</p>	<p>市民部 市民生活課</p>
<p>実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流事業として、乳幼児と高齢者の会を実施している。21年度は北健康福祉センターで高齢者6名、親子10組22名、西健康福祉センターで高齢者12名、親子12組24名が参加。 ・19年度にみんなの家サポーター制度を創設し、サポーターがみんなの家を利用する子どもたちに遊びや工作、趣味等を教え、世代間の交流を図っている。 ・ファミリー・サポート・センター事業では、お互いの家族を含めた交流を図ることができ、家族間、世代間の交流が行われている。 ・学校では、道徳・特別活動・生活科・総合的な学習の時間を活用し、自然や動植物、人とのふれあいの機会をそれぞれねらいをもって計画的に設置している。 ・衣笠コミュニティセンター（旧衣笠公民館）で、親子を対象に昔なつかしい遊びを体験する講座を(21年度10回)実施したほか、多くのコミュニティセンターで、夏休み工作教室、おやこ料理教室、ホタル観察会などを実施している。 ・市民活動サポートセンターでは、春や夏の市民活動体験プログラムを実施し、多くの市民が体験を通じて市民公益活動への関心と理解を深める機会を提供している。 			
<p>今後の予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・22年度も世代間交流事業を実施する。 ・引き続き、みんなの家サポーター制度による世代間交流を図る。 ・ファミリー・サポート・センターの会員増と活動の充実を図っていく。 ・学校において、引き続き、道徳教育や生き方を考える場として体験学習や交流活動の機会の充実を図る。 ・コミュニティセンターにおいて、引き続き、親子対象の講座を開講講座の選択肢の一つとする。 ・市民活動サポートセンターにおいて、引き続き、市民活動体験プログラムを実施し、多くの市民が市民活動に触れる機会の充実を図る。 			

75 カ 小中学校における健康づくりの推進

「新体力テスト」を市内小学校で実施し、児童自らが、自分の体力を把握し体力の向上を図れるようにしたり、体育の授業の工夫改善に活用したりしながら、生涯にわたってスポーツに親しむ習慣・意欲・能力を育成していきます。

<p>施策推進部課</p>	<p>生涯学習部 スポーツ課</p>
<p>実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校において、体育の授業だけでなく、学校生活全体を通して、子どもたちの体力づくりや健康づくりが推進されている。 ・新体力テストは、市内各小学校の希望制で実施している。16年度は24.5%が実施、その後、体力向上の重要性についての啓発活動や実施校の情報等により、年々実施校数が増加、21年度は91.7%実施。
<p>今後の予定</p>	<p>これまでの取り組みの成果をさらに向上させることができるよう、学校における体力づくりや健康づくりを様々な場面で推進していく。新体力テストの必要性を啓発し、市内全小中学校が実施するよう進める。</p>

76	キ 学校評議員制等の活用による学校づくり
学校評議員制を活用したり、家庭・地域とともに教育活動を進めたりするなど、積極的な情報発信・公開を行うとともに、地域の中の学校として信頼される学校づくりを進めていきます。	
施策推進部課	生涯学習部 学校教育課
実績	信頼される学校づくりを進めるため、学校評議員の理解や協力を得ながら学校の情報発信、学校（授業）公開を積極的に行っている。学校評議員の意見が学校評価や学校づくりに活かされている。
今後の予定	引き続き、学校評議員を活用して地域の意見を取り入れながら、より一層、創意工夫のある学校教育を行っていく。

77	ク 幼児教育の推進
本計画を基本に、横須賀市としての幼児教育振興プログラム策定について検討していきます。	
施策推進部課	生涯学習部 学校教育課 こども育成部 保育課
実績	未実施 【未実施の理由】 「よこすか子育て支援計画」に基づき事業を実施する中で就学前教育の振興を図る。
今後の予定	22年度以降は「よこすか次世代育成プラン」に基づき事業を実施し就学前教育を推進する。

78	ケ 幼児教育と小学校教育との連携を図る体制づくり等
幼児教育の充実のため、幼児教育に関する情報提供を進めるなかで、幼児期の成長の様子や大人のかかわり方について、保護者や地域の理解を深めていきます。また、幼児教育と小学校教育との連携を図る体制づくりに向け、関係機関との調整を進めていきます。	
施策推進部課	生涯学習部 学校教育課 こども育成部 保育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> 就学前教育の充実のため、幼稚園・保育園・小学校の教員及び保育士の交流や園児・児童の交流、合同研修や情報交流などさまざまな連携を通して、子どもたちの学びや育ちをつなげる体制づくりを進めている。 保育園と小学校との連携を図るため、公立及び私立保育園の園長代表と学校教育課による情報交換会を開催している。 保育指針の改正に伴い、21年度から保育園において保育所児童保育要録を作成し、小学校への送付を開始した。
今後の予定	引き続き、地域の特色を生かし、保育園、幼稚園、小学校間の連携を図る体制づくりを進める。

(3) 家庭や地域の教育力の向上

ア 子育てグループ等の育成・活動の支援（再掲）

79	イ 保護者参加型行事を活用した家庭教育支援	
<p>妊婦・乳幼児健診や入園手続きなど、子どもを持つ保護者が参加する場を利用して、子育てに関する情報やブックスタート・パックなどの教材を提供したり、相談 窓口を配置するなど、保護者参加型行事を活用した家庭教育支援を行っています。また、家庭教育支援の更なる推進に向け、PTA協議会との連携を一層図っていくとともに、各公民館で実施している各種家庭教育学級の充実を進めていきます。</p>		
施策推進部課	こども育成部 こども健康課	生涯学習部 生涯学習課・中央図書館
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦教室や育児支援教室、健診等で子どもの年齢や状況にあった情報提供や相談を行っている。 ・小中学校等PTAを対象とする家庭教育講演会の実施を、横須賀市PTA協議会に委託した。 21年度実績 ー 日 時：11月16日（月）10時～12時 テーマ：物語で学ぶ英語 ～英語力と日本語のビミョーな関係～ 講 師：都留文科大学英文学講師・翻訳家 滝口峯子氏 日 時：2月10日（水）10時～13時 テーマ：インターネット・携帯に関する講演会 講 師：Webカウンセリング協議会 安川雅史氏 ・ブックスタートパック配布数 21年度実績 2,954 件（配布率 96.8 %） 	
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、妊婦教室や育児支援教室・健診等で子どもの年齢や状況にあった情報提供や相談を実施していく。 ・家庭教育講演会を22年度も実施する予定。 ・ブックスタートパックについては、市内6箇所で開催されるBCG接種時に配布し、市内の全乳児への配布を目指す。配布に際しては読み聞かせの意義などを説明し、家庭での読書環境づくりを支援していく。 	

80	ウ 保育園、幼稚園等における家庭教育への意識啓発	
<p>乳幼児の保育と幼児教育の専門知識を活かし、家庭での児童との関わりに対する保護者への意識啓発を図っていきます。</p>		
施策推進部課	こども育成部 保育課	生涯学習部 学校教育課
実績	<p>保育園では、専門知識を生かし、児童の保護者からのさまざまな保育相談に対し助言や指導などを行い、保護者への意識啓発を含め、子育て支援を実施している。幼稚園でも、懇談会や講演会等の機会を設けるとともに、日常的にも個々のケースに対応する中で保護者への意識啓発を図っている。</p>	
今後の予定	<p>引き続き、保育園や幼稚園において、専門知識を活かし、相談への助言や指導を行うなど家庭での児童との関わりに対する保護者への意識啓発を行う。</p>	

81	エ 地域スポーツ指導者の育成
すべての学校の校庭及び体育館を地域開放している実態を踏まえ、各地域の体育指導員を対象とした研修会を行うとともに、地域スポーツ団体の要請により指導者を派遣するなど、スポーツ指導者の育成を図っていきます。	
施策推進部課	生涯学習部 スポーツ課
実績	地域での体育・スポーツの指導者としての資質向上のため、体育指導員を対象に各種研修会を実施している。 21年度実績 研修会9回実施 178人参加 地域スポーツ団体に指導者を派遣する「スポーツ指導者派遣制度」は16年度で終了したが、指導者派遣要請については必要に応じて各種目協会を紹介している。
今後の予定	引き続き、体育指導員を対象に各種研修会を実施する。また指導者紹介については必要に応じて各種目協会につなげる。

82	オ 地域ボランティアの協力による地域教育力の向上
地域教育ボランティアの協力により、子どもたちの学習活動を充実させるとともに、学校教育における地域教育力の向上を図っていきます。	
施策推進部課	生涯学習部 学校教育課
実績	学校では、きめ細やかな学習支援のための学習サポーターや専門的な知識を生かしたゲストティーチャー等の協力を得て、子ども達の学習環境を整え、内容を充実させてきている。また、学校とともに子どもを育てるための協力応援体制が図られている。
今後の予定	引き続き、地域ボランティアを積極的に活用し、子どもたちの学習活動の充実と地域教育力の向上を図る。

(4) 子どもを取り巻く有害社会環境対策の推進

83	有害社会環境健全化活動の推進
神奈川県と協働で実施している社会環境実態調査結果に基づき、市民・行政が一体となって有害社会環境健全化の活動を進めていきます。また、有害社会環境の健全化に向けて、関係業界の参加を得た連携会議の開催を検討していきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年企画課・こども青少年支援課
実績	青少年育成推進員の協力を得て、社会環境実態調査、有害図書類区分陳列等調査を毎年実施している。17年度から法令順守・青少年の見守りなどの協力を得る青少年健全育成協力店事業を開始。21年度までに197店舗が登録している。また年間を通じて、市巡回指導員や青少年育成推進員によるパトロール、街頭指導を行っている。
今後の予定	引き続き、青少年健全育成協力店事業やパトロール、街頭指導を行う。

4 子どもと子育て家庭を支援する生活環境の整備

(1) 子どもの交通安全を確保するための活動の推進

84	ア 幼児・児童・生徒に対する交通安全教育の推進
正しい歩行と横断方法を身につけ、自ら学び、考え、行動できるよう、保育園、幼稚園、学校、家庭及び地域社会が連携し、交通安全教室等の開催により交通安全教育を実施していきます。	
施策推進部課	市民安全部 地域安全課
実績	保育園児・幼稚園児を対象とした幼児交通安全教室、小学1年生を対象とした1年生交通安全教室、小学3・4年生を対象とした自転車交通安全教室を毎年実施している。
今後の予定	引き続き、交通安全教育を実施していく。 小学6年生を対象とした自転車交通安全教室を実施する。

85	イ 地域社会における交通安全教育の推進
「交通安全は家庭・学校・職場・地域から」の意識を育てるため、地域における交通安全団体による交通安全のための活動や教育の実施にあたっては、これらが有効に行われるように資料提供、指導員の派遣などを図っていきます。	
施策推進部課	市民安全部 地域安全課
実績	地域の交通安全意識を育てるため、地域団体へ交通安全教育指導員を派遣し、交通安全教室を毎年実施している。
今後の予定	引き続き、交通安全教育を実施していく。

86	ウ 交通安全に関する普及及び啓発活動の推進
「横須賀市交通安全運動推進協議会」を主軸として、関係機関・団体が緊密に連携し、市民運動としての組織的、継続的な交通安全運動を展開していきます。また、児童の登下校時における通学路での交通事故を防ぐため、学校、P T A、地域等による自主的な通学路安全対策に必要な物資の支援を行っていきます。	
施策推進部課	市民安全部 地域安全課
実績	毎年、春・秋の全国交通安全運動及び夏・年末の交通事故防止運動を展開している。また、新入学児童に対する黄色い帽子の配布、通学路標示板の配布、P T Aや町内会等に横断旗や横断指導旗を配布し、地域等の自主的な通学路安全対策を支援している。
今後の予定	引き続き、各季の交通安全運動を展開し、地域の自主的な通学路安全対策を支援していく。

87	エ 安全運転の確保等
自転車も車両の一種であることを周知し、利用者に対する自転車の安全利用のためのマナーやルールの遵守についての啓発活動に努めていきます。	
施策推進部課	市民安全部 地域安全課
実績	自転車マナーアップ運動強化月間（5月）を中心に啓発を行っている。また、広報よこすかに特集記事を掲載し啓発に努めている。
今後の予定	引き続き、啓発活動を推進していく。

88	オ シートベルト及びチャイルドシートの正しい着用の徹底等
シートベルト非着用による事故防止のため、また、乗車中の子どもを事故から守るため、シートベルト及びチャイルドシートの着用の徹底を図っていきます。また、チャイルドシートの着用効果及び着用方法についての理解を求め、正しい着用の徹底を図るとともに、後部座席シートベルトの着用を推進していきます。	
施策推進部課	市民安全部 地域安全課
実績	春・秋の全国交通安全運動と年末の交通事故防止運動の実施要綱に、「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」を記載し、町内会・自治会などに周知している。
今後の予定	引き続き、啓発活動を推進していく。

(2) 子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進

89	ア 関係機関等との情報共有による犯罪被害予防活動の推進
関係する機関と団体との情報共有を図り、それぞれの機関、団体の活動形態に応じた活動を実施することにより、犯罪被害予防活動の推進を図っていきます。	
施策推進部課	市民安全部 地域安全課 こども育成部 こども青少年企画課・こども青少年支援課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・20年4月に「犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」を施行し、その中で、安全で安心なまちづくりの推進体制の整備や自主的な活動の支援、情報提供などについて明記した。 ・横須賀市安全・安心まちづくり推進連絡協議会（会長・横須賀市連合町内会会長、構成団体は市、教育委員会、PTA協議会、警察、防犯協会、商工会議所など42団体）を運営し、21年度は駅前での防犯キャンペーンや防犯講演会などを行った。 ・青少年育成推進員による街頭指導や市巡回指導員による街頭指導で青少年の見守りや声掛け、関係事業者への協力依頼などにより、青少年の非行を防止し、青少年が犯罪に巻き込まれないよう努めている。
今後の予定	引き続き、横須賀市安全・安心まちづくり推進連絡協議会の活動等を通じ、関係機関等と情報共有・連携を図り犯罪被害予防活動を進めていくとともに、パトロールや街頭指導を行い、青少年の非行防止に努める。

90 イ 防犯や安全対策の推進		
子どもたちが犯罪に巻き込まれないための防犯意識の啓発や保育園、幼稚園、学校などの施設内における安全対策の推進を図っていきます。また、警察等との連携を深めつつ、子ども避難所などをさらに展開していくよう努めていきます。		
施策推進部課	市民安全部 地域安全課	こども育成部 保育課 生涯学習部 学校教育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> 地域や通学路での子どもの安全を確保するために、移動防犯教室（誘拐事件、不審者出没、ひったくり等を模した寸劇など）を開催した。 21年度実績 6回開催 企業・警察・市の三者による防犯協定を結び、犯罪被害に遭遇した高齢者や子どもなどの避難場所を提供する「よこすか安全・安心ステーション」を設けた。 21年度までに市内に485店舗（12事業者） 学校において、子ども自身が危機意識を持ち、その回避能力を高められるよう「安心教室」の実施や「子ども110番の家」の利用などの指導を行い防犯意識の啓発を行っている。また、登下校時の職員のパトロールや地域見守り隊、警察のスクールサポーターとの連携・協力を図りながら安全指導の推進に努めている。 	
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、移動防犯教室を開催し、「よこすか安全・安心ステーション」を充実させていく。 保育園、幼稚園の安全な保育環境の整備を図るとともに、学校において、子どもたちへの意識啓発や施設等の安全対策を推進していく。 	

91 学校付近や通学路等におけるパトロール活動の推進		
学校付近や通学路等において、関係機関、地域団体の共同によるパトロール活動を推進していきます。		
施策推進部課	市民安全部 地域安全課	こども育成部 こども青少年企画課・こども青少年支援課
実績	<ul style="list-style-type: none"> 地域で計画的に防犯活動を実施している団体へ、防犯関係物品（腕章、ジャンパー、ベスト、帽子、のぼり旗、拡声器等）を支給している。 21年度実績 247団体に支給 町内会等での出前トーク（21年度実績 10回開催）と地域防犯リーダー養成講座（21年度実績5回開催、103町内会より全171人参加）を開催し、子どもの安全対策やパトロールの方法などについての講義を実施している。 青少年育成推進員等関係団体の協力を得て街頭指導や青少年見守り隊パトロールを実施している。また中学校区ごとに組織されている青少年育成活動地域連絡会にパトロールを含む青少年育成活動を委託している。市巡回指導員による街頭指導も年間を通じて実施している。 	
今後の予定	引き続き、地域パトロールや子どもの見守り活動を実施している町内会等に防犯関係物品を支給し、出前トーク、地域防犯リーダー養成講座を実施するとともに、パトロールや街頭指導を行い、青少年の非行防止に努める。	

(3) 被害に遭った子どもの保護の推進

92	ア 関係機関との連携による相談体制の充実	
犯罪、いじめ、児童虐待等により被害を受けた児童の精神的ダメージを軽減するため、子どもと保護者に対して関係機関と連携し、きめ細やかな支援を行っていきます。		
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課・児童相談所	
実績	<ul style="list-style-type: none"> 不適切な養育や児童虐待、いじめに関する相談やDV相談により、児童の心のケアを行うため、専門職（臨床心理士や精神科医）による相談を行っている。必要に応じてこども家庭地域対策ネットワーク会議を活用し、サポートチーム会議を開催してそれぞれの機関が役割を確認し、きめ細やかな支援を行っている。 児童相談所では、子どもと接する機会が多い学校や医療・保健機関などと連携をとりながら相談等に対応している。 相談受付件数 21年度 958件	
今後の予定	引き続き、関係機関の連携を強化し、被害を受けた児童とその保護者へのきめ細やかな支援を行っていく。	

(4) 良好な居住環境の確保

93	ア ファミリー世帯向け住宅の供給促進	
子育て中にファミリー世帯などがその収入に応じた家賃で良質な住宅に住むことができるよう、特定優良賃貸住宅の既存ストック等を活用することにより、供給促進を図っていきます。また、多子世帯に対するニーズに応えるため、大家族向け住宅の確保に努めていきます。		
施策推進部課	都市部 住宅政策課	
実績	14年度までに、中堅所得者向けのファミリータイプの賃貸住宅として、民間土地所有者が建設した優良な賃貸住宅を9団地158戸供給した。空き家入居者の登録の募集は年2回実施。 応募状況 21年度 3世帯	
今後の予定	引き続き、既存の特定優良賃貸住宅を活用していく。	

94	イ 公共賃貸住宅と子育て支援施設との一体的整備	
公共賃貸住宅の新規整備にあたっては、今後とも、関係部局と連携しながら、地域のニーズに応じて対応していきます。		
施策推進部課	都市部 住宅政策課	こども育成部 こども青少年支援課
実績	未実施 【未実施の理由】 公共賃貸住宅の新規整備がなかったため。 なお、駅近の高齢者向け優良賃貸住宅の中に14年度から子育て支援センターを設置している。	
今後の予定	公共賃貸住宅の新規整備の計画なし。	

95	ウ シックハウス対策の推進について
室内空気環境の安全性を確保するため、引き続き、シックハウス対策を推進していきます。	
施策推進部課	都市部 住宅政策課
実績	<p>公営住宅等整備基準に基づき新築した公営住宅について、居室内における化学物質の発散による衛生上の支障の防止を図る措置を講じている。</p> <p>17年度 鴨居ハイム（1期）4棟・52戸 18年度 鴨居ハイム（2期）3棟・39戸、アンシャンテ森崎1棟・11戸、TBラ・コート津久井浜1棟・17戸 19年度 なし 20年度 鴨居ハイム（3期）4棟・69戸、サニーガーデン野比1棟・15戸</p>
今後の予定	21年度以降の公営住宅の新築予定なし

96	エ 住宅情報の充実
本市のホームページによる市内の公共賃貸住宅情報を今後とも内容の充実を図りながら提供していきます。また、引き続き、（社）かながわ・まちづくり協会へのリンクにより、全国の公共賃貸住宅情報や家屋の新築・リフォーム及び売買・賃貸情報を提供していきます。	
施策推進部課	都市部 住宅政策課
実績	市のホームページにより市内の公共賃貸住宅情報を提供している。また、（社）かながわ住まい・まちづくり協会のホームページへのリンクにより、市内の特定優良賃貸住宅ほか、全国の公共賃貸住宅等の情報や家屋の新築・リフォーム及び売買・賃貸情報を提供している。
今後の予定	引き続き、本市のホームページや（社）かながわ住まい・まちづくり協会のホームページへのリンクにより、市内の特定優良賃貸住宅ほか、全国の公共賃貸住宅等の情報を提供していく。

（5）安全な道路交通環境等の整備

97	ア 道路の整備による交通安全対策の推進
安全で円滑な通行を確保するため、日常のパトロールによる現状把握や市民から寄せられる要望等にもとづき、既設舗装道の補修、道路排水施設及び路肩の整備等を推進していきます。	
施策推進部課	土木みどり部 道路維持課・道路補修課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・道路パトロールや市民からの通報による道路破損等の早期修繕を行った。 ・老朽化した箇所や未整備箇所の既設舗装や道路排水施設について、舗装の打ち換えや排水整備等の補修工事を実施した。
今後の予定	引き続き、上記事業を行う。

98	イ 地域の特性に応じた交通規制の推進
<p>地域交通の手段として使われる道路については、一方通行、指定方向外進行禁止等を組み合わせ、通過交通を抑制するなど、良好な生活環境を維持するための交通規制を行っていきます。さらに、主として歩行者及び自転車利用者に使われる道路については、歩行者用道路、車両通行止め、路側帯の設置等、安全を確保するための交通規制を地域住民の理解のもとに推進していきます。また、登下校時に通園通学路の安全を確保するため、学校周辺のスクールゾーン内においては、必要な交通規制を始めとする総合的な安全対策を重点的に進めながら、危険な要因の排除に努めていきます。</p>	
施策推進部課	市民安全部 地域安全課
実績	警察署、道路管理者等と連携し、地域の特性に応じた交通安全対策を推進している。
今後の予定	引き続き、交通安全対策を推進していく。

99	ウ バリアフリー化を始めとする歩行空間等の整備
<p>歩行者や自転車利用者の安全を確保するため、歩道、自転車歩行者道の整備を推進していきます。また、高齢者や身体障害者（児）等の自立した日常生活及び社会生活を確保するため、駅、公共施設、福祉施設、病院等の周辺を中心に、安全で快適な通行を確保するため、平坦性が確保された歩道、公共施設への音声誘導装置等の効果的な安全施設の整備を推進していきます。</p>	
施策推進部課	土木みどり部 道路補修課・道路維持課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の新設や改良、拡幅事業等において、歩行空間の整備を実施した。 ・子ども達の交通安全行動の習慣づけを目的として、車両と歩行者が集中する小規模な交差点等の危険箇所、地域、市並びに所轄警察署が連携し、「ストップマーク」を設置した。また、自転車利用者に注意を促す路面表示を設置した。 ・だれもが安心して移動できるようにするため、駅周辺や商店街、公共施設周辺交差点部において、歩道の段差解消や、必要に応じて点字ブロックの設置を行った。
今後の予定	引き続き、上記事業を行う。

エ 商店街の空き店舗を活用した保育サービスをする場の確保（再掲）

(6) 安全・安心まちづくりの推進等

ア 防犯や安全対策の推進（再掲）	
100	イ 通学路や公園等における防犯設備の整備の推進
商店街の環境整備を促進し、商店街団体が地域の活性化、まちづくりの一環として計画的に設置する街路灯やアーケード等の共同施設に対し支援していきます。	
施策推進部課	経済部 商工振興課
実績	商店街団体が設置する街路灯やアーケード等の共同施設に対し支援を実施している。 21年度実績 10団体 30,161千円
今後の予定	引き続き、商店街団体が設置する街路灯やアーケード等の共同施設に対し支援を実施していく。

5 仕事と子育ての両立の推進

(1) 仕事と子育ての両立に向けた取組

101	ア 保育サービス、放課後児童健全育成事業及びファミリー・サポート・センターの充実
すべての子育て家庭において仕事と子育てが両立できるよう、保育サービス、放課後児童健全育成事業及びファミリー・サポート・センターの充実を図っていきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年企画課・こども青少年支援課・保育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の保育サービスについては、保育園の定員拡充を図っている。 20年度実績 40園 3,666人 21年度実績 40園 3,690人 ・小学生を対象とする放課後児童健全育成事業については、わいわいスクール、学童クラブ、みんなの家のランドセル置き場を実施し、放課後の居場所を提供している。 21年度実績 わいわいスクール6校 学童クラブ50箇所 みんなの家15館 ・ファミリー・サポート・センターの充実のため、19・20年度はおまかせ会員の少ない地区（19年度は西地区、20年度は北地区）で会員養成のための研修会を開催し、おまかせ会員の確保に努めた。21年度は地区交流会を5地区で開催し、会員同士の交流を深めた。 21年度実績(2月末現在) よろしく会員1,360人 おまかせ会員469人 どちらも会員127人
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保育園の定員拡充を図る。 22年度 保育園定員105人増予定 ・引き続き、わいわいスクール、学童クラブ、ランドセル置き場の放課後児童健全育成事業を実施し、学童クラブについては施設数を拡充するとともに、指導員の資質向上を図る。 22年度 学童クラブ4箇所増予定 ・ファミリー・サポート・センターについては、引き続き、交流会、会員研修を行い、活動の活性化を図る。

102	イ 多様な両立支援策の検討	
仕事と子育て両立支援のための各種サービスの広報等、情報提供を積極的に行うとともに、両立支援のための体制の整備について検討していきます。		
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課・保育課	経済部 商工振興課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センターの充実を図るとともに、子育てガイド配布による情報提供を行う。 ・仕事と子育ての両立支援のため、保育園定員の拡充や放課後児童健全育成事業の充実を図っている。 21年度実績 保育園定員 3,690人 わいわいスクール6校 学童クラブ50箇所 みんなの家15館 ・女性のための再就職セミナーを(財)21世紀職業財団と共催した。 21年度実績 1回(6月)開催 20人参加 	
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、仕事と子育ての両立支援のため、保育園定員の拡充や放課後児童健全育成事業、ファミリー・サポート・センターの充実を図る。 22年度 保育園定員105人増、学童クラブ4箇所増予定 	

(2) 男性を含めた働き方の見直し等

103	ア 事業主等に対する広報・啓発・情報提供	
仕事と子育ての両立を図るための多様な働き方の支援と男性を含めた働き方の見直しのために、横須賀商工会議所とも連携して「事業主」に対し広報・啓発を行っていきます。		
施策推進部課	市民部 人権・男女共同参画課	
実績	<p>「仕事と生活のバランスと働き方の見直し」を男女共同参画プラン(第3次)(19~24年度)の重点課題の一つに位置づけ、広報紙ニューウェーブ等で、働きながら子育てしやすい環境づくり等に対する意識の啓発を行っている。また、本市職員(男女共同参画職場リーダー)を対象とした講演会に、横須賀商工会議所の協力を得て、市内事業所にも参加を呼び掛けた。</p> <p>21年度実績 1社</p>	
今後の予定	引き続き、ワーク・ライフ・バランスや子育てしながら働きやすい環境づくり等に対する意識啓発等を行う。	

イ 事業所内保育施設整備(再掲)

6 支援を必要とする子どもとその家族への支援の充実

(1) 児童虐待防止対策の充実

104	子どもの人権に関する意識啓発、学習機会の充実		
子育てに関するあらゆる施設や学校などにおいてかけがえのない子どもの大切さ、いじめや虐待の予防などについて啓発を行います。また、医療機関、施設などに対しても理解を求めていきます。			
施策推進部課	こども育成部 こども青少年企画課・ こども青少年支援課・児童相談所	市民部 人権・男女共同参画課	生涯学習部 学校教育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・20年度に策定した「横須賀市人権施策推進指針」のパンフレット（10,000部）を作成し、周知を図った。 ・子どもの権利については、教育委員会、こども育成部及び市民部が連携し、子どもの人権全般について正しい理解の普及を図るために、「子どもの権利条約」の趣旨をやさしく解説した各種リーフレット（小学校低学年・小学校高学年・中高生用・大人向け）や施設入所児童のための子ども権利ノートを配布するなど啓発に努めている。 ・18年度から年1回、中高生を対象にデートDV防止のための講演会を開催している。 		
今後の予定	<p>今後は、指針に基づく人権施策を推進していくとともに、引き続き、「子どもの権利条約」リーフレット等の配布、デートDV講演会の開催など具体的な取り組みを進めていく。</p>		

105	イ 児童相談所の設置		
児童虐待等の相談に迅速に対処するため、本市の児童相談所を平成18年4月設置します。障害者、青少年及び教育関係機関などと緊密な連携を図りつつ、適切な運営を行っていきます。			
施策推進部課	こども育成部 児童相談所		
実績	18年4月1日横須賀市児童相談所開設、運営を開始した。20年4月1日一時保護所を併設し、「はぐくみかん」に移転した。		
今後の予定	引き続き、関係機関との連携を図りつつ、児童相談所及び一時保護所の適切な運営を行っていく。		

106	ウ 子ども虐待問題の発生予防・早期発見・対応	
乳幼児健康診査等、保育園、幼稚園及び学校等において、親子関係を確認し、子ども虐待の発生予防・早期発見に努めていきます。また、子ども虐待予防相談センター（ＹＣＡＰ）を窓口として、子ども虐待問題の発生予防・早期発見・早期対応を図るために子育て関連機関と連携を図っていきます。		
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課・こども健康課・児童相談所	生涯学習部 学校教育課
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待を受けている子どもをはじめとする要保護児童等の早期発見、早期支援に向け、関係機関による情報共有や支援方針の確認、各機関の役割の明確化を図るため、こども家庭地域対策ネットワーク会議全体会議を年1回、実務担当者連絡会議を市内4地区で年2回、サポートチーム会議を145回開催した(2月末現在)。 ・組織改正により、こども虐待予防相談センターは18年3月に廃止した。 ・こども健康課の母子保健活動の中で要保護児童の早期発見、支援に努めている。 ・児童相談所において、対象となる子どもについて、48時間以内に安否や養育状況などの事実確認を行い、援助方針会議において具体的方策を検討し支援を実施している。 虐待相談件数ー 21年度 274件 ・学校では、教員が日常的な健康観察を行うとともに、子どもとの会話や道徳の授業等を通して虐待の早期発見・早期対応に努めている。 	
今後の予定	引き続き、横須賀市こども家庭地域対策ネットワーク会議全体会議を年1回、実務担当者連絡会議開催を4地区で年2回、サポートチーム会議を随時、開催し、関係機関の連携を図る。乳幼児健診や学校等での親子関係の確認に努めるとともに、児童相談所における支援を行っていく。	

107	エ 子ども虐待問題の相談体制の充実	
新生児訪問や母親のメンタルヘルスチェック等による相談体制を充実させるとともに、24時間相談体制を推進していきます。		
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課・こども健康課・児童相談所	
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・17年度から24時間・365日、電話相談を受け付ける「子育てホットライン」を設置し、いつでも子育て相談ができる体制を整えている。 21年度実績 1,471件 ・「子育てホットライン」と連携して、緊急性のある案件や専門的な相談は、直ちに児童相談所が引き継ぎ対応している。 児相関係受付件数 21年度実績 150件 ・妊婦の全数把握及びこんにちは赤ちゃん訪問を行い、支援が必要な場合は早期にかかわり、他機関との連携を図り、問題の重症化を防いでいる。 ・親のメンタルヘルス相談や親子支援相談を実施し、子育て中の保護者への相談体制を確立させている。 	
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、相談員のスキルアップを図りながら、「子育てホットライン」による電話相談を実施する。 ・引き続き、妊婦の全数把握及びこんにちは赤ちゃん訪問を行っていく。 	

(2) ひとり親家庭等の自立支援の推進

108	ア ひとり親家庭等に対する多様な支援策の推進
<p>(母子家庭等に対する就業支援策の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子家庭等に対する就業支援として、自立支援教育訓練給付金の支給、高等職業訓練促進給付金の支給、就労支援セミナーの開催などを行い自立支援を推進していきます。 アルバイトやパートタイム労働など不安定な職種に従事する母子家庭の母親に対して常用雇用の就職に必要な情報技術などを習得する機会(パソコン各種講座・簿記講座)を提供していきます。 <p>(母子生活支援施設などの整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子家庭で生活の場の支援が必要なケースやドメスティック・バイオレンス(夫等からの暴力)による保護の必要なケースの自立促進のための支援施設を確保していきます。 	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課
実績	<p>(母子家庭等に対する就業支援策)</p> <p>16年の事業開始から21年まで、自立支援教育訓練給付金は138件、高等職業訓練促進給付金は47名(看護師27名准看護師20名)に支給した。就労支援セミナーは、21年度は県、横浜、川崎、相模原と共催し14コースを実施した。</p> <p>(母子生活支援施設などの整備)</p> <p>経済的困窮や母の養育力不安、DVによる保護など、さまざまな問題を抱える母子家庭に対して市内の母子生活支援施設などで生活援助、就労援助、相談支援などを行いながら、施設退所後も安定した生活を送れるよう支援している。21年度は月平均約17世帯を措置。</p>
今後の予定	<p>(母子家庭等に対する就業支援策)</p> <p>引き続き自立支援教育訓練給付金・就労セミナーを実施し、高等職業訓練促進給付金は全修学期間(最大5年)へ拡大して実施する。</p> <p>(母子生活支援施設などの整備)</p> <p>複雑な問題を抱える母子家庭を支援する施設として、関係機関や地域との連携を図りながら、引き続き自立促進のための支援を担えるよう充実させていく。</p>

109	イ 地域の支援・相談体制の充実
<p>主任児童委員・民生委員など、地域で子育てを見守る組織の強化とさらなる連携を図り、子育て支援及び相談の体制を充実していきます。また、ドメスティック・バイオレンス被害者等の支援のため、関係機関によるネットワーク会議を開催し、被害者等の自立支援を図っていきます。</p>	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課
実績	<p>ドメスティック・バイオレンス(DV)対策事業は20年度から人権・男女共同参画課からこども青少年支援課に業務移管。児童虐待に関するネットワークを生かし、DV被害者の自立支援にむけて関係機関と連携を強化し、児童への支援につなげている。児童虐待については地域ごとに実務担当者会議を開催したり、個々にサポートチーム会議を開催するなどして連携を図っている。DV被害者の支援のためのネットワークミーティングは地域の関係機関を集めて年1回開催している。</p>
今後の予定	<p>今後も児童虐待、DV対策ともに実効的なミーティングを継続的に開催して連携を図る。</p>

110	ウ ひとり親のためのグループミーティングの開催
ひとり親の子育ての孤立化を防ぐため、情報交換や交流を図るためのグループミーティングを開催し、自立支援のあり方を検討していきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課
実績	ひとり親家庭の交流会を開催し、グループミーティングを通して当事者間の悩みの共有、交流の促進、情報交換を行っている。 21年度実績 2回開催 参加者 大人22人 子ども18人
今後の予定	引き続き、交流会を開催する。年2回開催予定。

エ 子育て中の父親のネットワークづくり（再掲）

(3) 障害児施策の充実

111	ア 経過健診（フォローアップ教室）の充実
乳幼児健康診査後、発達の経過観察を行いながら、今後の子どもの療育について、保護者とともに考える場であるフォローアップ教室の開催方法などについて検討を重ね、さらなる内容の充実を図っていきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課
実績	毎年度末に健康福祉センターごとに振り返りを行い、次年度に向けてフォローアップ教室の内容を検討している。また、職員のスキルアップを目的とした研修会を開催している。 21年度実績 フォローアップ教室 81回 599人
今後の予定	引き続き、年度ごとの検討を重ね、フォローアップ教室の内容の充実を図る。

112	イ 障害児・慢性疾患児を持つ親の孤立化予防
障害児や慢性疾患児を持つ親は、外出の困難さや子育て情報の不足などにより、子育ての孤立化が起りやすいと考えられるので、関係機関と連携を図りながら情報の提供やネットワークづくりを行っていきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども健康課・こども青少年支援課
実績	<ul style="list-style-type: none"> 17年度及び18年度に情報提供・孤立化防止の目的で、小児慢性特定疾患相談会を実施したが、参加者が少なく、アンケート調査を実施した。アンケートの結果、都合が合えば参加したいが、受診等のスケジュールが立て込み調整が難しいという意見が多かった。 21年度は、子育て情報をまとめた「子育てガイド」を9,000部、障害児に関わる情報をまとめた「療育すこやかガイドブック」を3,000部作成し、市内各機関などで市民向けに配布した。また、支援者用の「療育相談ハンドブック支援者用マニュアル」を1,000部作成、配布した。
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> 障害児や慢性疾患児を持つ保護者にとって、相談会等決められた時間場所への参加はニーズがあってもそぐわないことがわかったため、個別支援に重点を置き支援を行う。 引き続き、「子育てガイド」「療育すこやかガイドブック」「療育相談ハンドブック支援者用マニュアル」を作成し、情報提供を行う。

113	ウ 障害児受け入れ保育園、幼稚園の巡回相談の充実
巡回相談の充実を図り、就園後の相談、就学に向けての相談体制を充実していきます。	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課
実績	療育相談センターによる巡回相談を実施し、相談体制の充実を図っている。 21年度実績 巡回相談 幼稚園46回訪問・59件相談 保育園34回訪問・90件相談 その他（小学校等）64回訪問・83件相談
今後の予定	引き続き、療育相談センターによる巡回相談を実施し、相談体制の充実を図る。

114	エ（仮称）療育相談センターの設置
<p>子どもに関する総合的な施設として設置する(仮称)こどもセンターの「主要機能」として、平成20年度に(仮称)療育相談センターを設置します。</p> <p>(生涯を通じた一貫した支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯を通じた一貫した支援が受けられるよう地域の療育関係機関とのネットワークや地域の療育機能を充実していきます。 <p>(個別の療育プログラムに基づく地域の社会資源の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療・検査部門の新設と療育相談機能の充実を図り、様々な発達障害の医学的診断と早期からの個別の療育プログラムに基づく地域の社会資源を活用した支援をしていきます。また、地域の社会資源に対する巡回支援を充実していきます。 <p>(外来診療の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外来診療による理学療法、作業療法、言語聴覚訓練を実施していきます。 <p>(市立肢体不自由児通園施設 マザーズホームA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療育相談・検査部門の療育プログラムによる集団療育及び個別療育を充実していきます。 <p>(市立知的障害児通園施設 マザーズホームB)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉施設としての認可施設へ移行し、定員の見直し等の体制強化を図っていきます。また、療育相談・検査部門の療育プログラムによる集団療育及び個別療育を充実していきます。 	
施策推進部課	こども育成部 こども青少年支援課
実績	20年4月に療育相談センターを開所し、医療法の規定による診療所業務、児童福祉法の規定による通園業務、国の心身障害児総合通園センター設置運営要綱の規定に準じた相談業務を行っている。 21年度実績 診療所利用者—初診271人 再診8,500人 通園施設利用者—肢体不自由児通園施設18人在籍 知的障害児通園施設 70人在籍 相談利用者—電話相談448件 面接相談691件 巡回相談144箇所・232件
今後の予定	引き続き、療育相談センターによる診療所業務、通園業務、相談業務を実施し、内容の充実を図る。また、療育相談センターを利用する児童のライフステージに応じた相談支援が行えるよう、地域の関係機関との連携を図る。

115	オ 児童居宅支援事業の充実
ホームヘルパー派遣やデイサービス、ショートステイサービスの充実を図っていきます。また、サービス提供者の資質向上に向けた研修を充実していきます。	
施策推進部課	健康福祉部 障害福祉課
実績	障害者自立支援法に定める障害福祉サービスとして、居宅介護（ホームヘルプサービス）、児童デイサービス、短期入所（ショートステイ）のほか、移動支援事業などを提供している。21年度から市内の児童デイサービス事業所において、対象者を小学校就学前から、小学生までに拡大した。また、19年2月からサービス提供者の資質向上に向けて事業所学習会を実施しており、21年からは障害児対象の支援の充実にも取り組んでいる。
今後の予定	現在、市内の児童デイサービス事業所では対象者を小学校までとしているため、高校生まで利用できるよう社会資源の充実に努める。障害児を対象とした学習会を児童相談所と連携して引き続き実施する。

116	カ 障害の多様化にともなう教育的ニーズに対応した教育支援
障害の多様化にともない、様々な教育的ニーズに対応した教育支援が行えるよう「特別支援教育コーディネーター養成研修」や「相談支援チーム」による各学校教員への巡回指導、また、ろう、養護学校を中心とした地域支援のあり方を充実させること等により、各学校内の体制を整えるとともに、関係諸機関との連携を図りながら、就学前から就労までを見据えた個別の教育支援計画を作成・実施し、生涯にわたる支援を進めていきます。	
施策推進部課	生涯学習部 学校教育課
実績	全校に配置された特別支援教育コーディネーターを中心として、多様化した個別の教育課題に対応する教育を展開するとともに、各学校の校内体制の充実に努めている。また、相談支援チームの巡回指導や特別支援学校のセンター的機能の充実等により、関係機関との連携や個別の教育支援計画の作成実施等、生涯にわたる支援を進めている。
今後の予定	引き続き、自らの力では解決することが難しい課題を抱える子ども一人ひとりを支えるために校内体制や教育の充実を図るとともに、関係機関や地域との連携、センター的機能の充実、個別の支援計画を活用した連携、教員の資質向上を目指した研修・研究の充実等に取り組む。